

# 【資料編】

【資料編】には、【事例編】で紹介した各校の実践の中から以下の内容に関連した資料をジャンル別に掲載しています。

- 1 家庭学習の手引き等
- 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等
- 3 教職員の共通理解
- 4 保護者へのアプローチ
- 5 その他

基本的には、【事例編】に掲載している資料ですが、紙面の都合上、小さかったり、見づらかったりする資料を拡大して掲載しています。【事例集】に掲載できなかった資料もありますので参考にしてください。



# かていがくしゅうのすすめかた

ねん  
1・2年



じかん

30分～60分かん

きほんの  
がくしゅう

- ・しゅくだいは、かならずやる。
  - ・音読（声に出してみよう。）
  - ・かん字と計算のれんしゅうをしよう。
- （まちがったらなおそう。）

ちょうせん  
してみよう

- ・きょうがくしゅうしたことをもういちどやろう。
- ・読書をしよう。
- ・日記や手紙や作文を書こう。
- ・生き物や草花のかんざつをしよう。
- ・もんだいをといたりもんだいを作ったりしてみよう。

<やくそく>

- 帰ったらすぐにはじめよう。
- テレビをけてペンきょうしよう。
- しせい・えんぴつのもちかたに気をつけよう。
- ていねいな字で書こう。

※ 家の人に丸をつけてもらい、まちがいをなおして出しましょう。

# 家庭学習のすすめ方

3・4年



時間 45分～70分間

国語

- ・教科書を音読しよう。
- ・新しい漢字調べよう。
- ・漢字の練習をしよう。
- ・読書をしよう。
- ・復写をしよう。
- ・作文や日記を書こう。
- ・新聞やニュースへの考えを書こう。

算数

- ・授業の学習や復習をしよう。
- ・ドリルでくり返し練習しよう。
- ・テストの間違い直しをしよう。
- ・問題の解き方をノートにまとめよう。
- ・問題を作ってみよう。
- ・学習したことを生活の中に生かそう。

理科

- ・教科書やノートを読み、授業の学習や復習をしよう。
- ・大事なことやノートをまとめよう。
- ・図鑑を読もう。
- ・身のまわりの生き物や植物を観察しよう。
- ・不思議に思ったこと、疑問に思ったことを調べよう。

社会

- ・教科書やノートを読み、授業の学習や復習をしよう。
- ・自分の住んでいる地域や県のことを調べよう。
- ・都道府県の位置をおぼえよう。
- ・新聞やニュースを見よう。
- ・歴史の本を読もう。
- ・図やグラフを見て考えよう。

学習活動の流れ

- 1 読む・調べる ⇨ 2 書く・まとめる ⇨ 3 練習する ⇨ 4 ふり返る

<やくそく>

- 帰ったらすぐに始めよう。
- テレビを消して勉強しよう。
- 時間・内容の計画を立てよう。
- よい姿勢でがんばろう。

※ 自分で丸つけをして、まちがいを直してから出しましょう。

# 家庭学習のすすめ方

5・6年



時間 70分～90分間

国語

- ・教科書を音読しよう
- ・新しい漢字調べよう
- ・漢字の練習をしよう
- ・読書をしよう
- ・復写をしよう
- ・作文や日記を書こう
- ・新聞やニュースへの考えを書こう

算数

- ・授業の学習や復習をしよう
- ・ドリルでくり返し練習しよう
- ・テストの間違い直しをしよう
- ・問題の解き方をノートにまとめよう
- ・問題を作ってみよう
- ・学習したことを生活の中に生かそう

理科

- ・教科書やノートを読み、授業の学習や復習をしよう
- ・大事なことをノートをまとめよう
- ・図鑑を読もう
- ・身のまわりの生き物や植物を観察しよう
- ・不思議に思ったこと、疑問に思ったことを調べよう

社会

- ・教科書やノートを読み、授業の学習や復習をしよう
- ・自分の住んでいる地域や県のことを調べよう
- ・都道府県の位置をおぼえよう
- ・新聞やニュースを見よう
- ・歴史の本を読もう
- ・図やグラフを見て考えよう

学習活動の流れ

- 1 読む・調べる ⇨ 2 書く・まとめる ⇨ 3 練習する ⇨ 4 ふりかえる

<やくそく>

- 帰ったらすぐに始めよう。
- テレビを消して勉強しよう。
- 時間・内容の計画を立てよう。
- よい姿勢でがんばろう。

※ 自分で丸つけをして、間違いを直してから出しましょう。

# 家庭学習の手引き

二本松市立東和小学校 第6学年

- 家庭学習について
- 「読む」「書く」「計算」の学力の土台になる力をつけよう。
  - 自分で課題を見つけ、解決したり追究したりする自主学習に取り組む。

■学習時間のめやす

70分

- 家庭学習のポイント
- 生活リズムを見直しましょう。
  - 早ね、早起き、朝ごはんの習慣を身に付ける。
  - メディア活用時間を自己管理する。
  - 計画的に取り組みましょう。
  - 学習を始める時刻と時間を決める。
  - 学習する内容を決める。
  - 学習する方法を決める。
  - 目標に向かってがんばりましょう。
  - 集中できる、明るい場所で学習する。
  - 正しい姿勢で取り組む。
  - 学習内容を確認しましょう。

- 学習を始める前に
- 学校からのプリントや連絡帳を家の人にせましよう。
  - テレビや音楽などは消し、机を整理しよう。
  - テーブルや机の上や周りを整頓しよう。
  - 学習に必要な文具を準備しよう。
  - 学習のめやすを決めよう。
  - 学習を始める時刻と時間を決めよう。
  - 学習内容と方法を決めよう。
  - 正しい姿勢で勉強しよう。

1音読

- 家の人に聞かせましょう。
- 声に出して、はっきり読み、表現を工夫しましょう。
- 詩や俳句、古典の作品を朗読したり、暗唱したりしましょう。

2復習

- 文字・文章・数字などをていねいに書きましょう。
- 分からないところは、教科書で調べましょう。
- 見直しをして間違いを直し、もう一度復習しましょう。

3自主学習

●内容

- 復習
- ・今日の復習
  - ・少し前の復習
  - ・テストやプリントでまちがえた問題
  - ・漢字、計算の練習
  - ・算数の活用、短文文
  - ・問題の解き方の解説や、問題作り
- 学習
- ・明日の授業の学習
  - ・明日のテストの予想
  - ・調べ学習（意味・使い方、短作文）
  - ・復写（教科書の文章を書き写す）

●方法

○自主学習のめやすをかきまします。

- 復習
- ・授業の学習日記を書く。
  - ・問題の解き方の説明を書く。
  - ・大事な言葉の意味をまとめる。
  - ・授業と似た問題を作る。
- 漢字、計算
- ・書き順に注意し書いて覚える。
  - ・短、長作文に挑戦する。
  - ・テストをして、丸付けをする。
- 学習
- ・明日、学習する内容を読む。
  - ・教科書の言葉を辞書で調べる。
- 自主学習の振り返りをかきまします。

■学習が終わったら

- 机の上を片付けましよう。
- 家の人に学習したことを見せましよう。家庭学習の感想を話ましよう。
- 明日の準備をまします。忘れずにランドセルに入れましよう。
- ・学習用具、教材をきれいに準備し、整える。
- ・時刻をそろえる。
- ・連絡帳を見て、必要な物・提出する物を確認する。

## 2019 家庭学習のすすめ —確かな学力の育成をめざして—



郡山市立桜小学校

### ◎ 学習のやり方と環境作り

#### 学習のやり方7か条

1. 毎日、決まった時刻に机に向かう。
2. 机の周囲を整理し、必要なものをそろえてから、取り組む。
3. 集中するために、少なくとも最初の10分間は立ち歩かない。テレビを消し、途中でおやつを食べない。
4. 正しい姿勢で、机に向かって学習する。
5. 分からないときは、教科書を見たり家人に聞いたり、辞書などで調べたりする。
6. 少しずつでも、毎日学習の時間を作る。  
(家庭・うちどくの確保。週末は長編に挑戦！)
7. 家の人に、毎日見てもらう。

### ワンポイントアドバイス

#### 時間を決める

「学校から帰ったらすぐ」が望ましいのですが、家庭の事情に合わせて時間を設定しましょう。生活の中に決まった時間帯で組み込まれていることが大切です。

#### 学習時間（宿題を含めて）

学 年	通常の授業の目安	長期休業の 期間の目安
1・2年	20～30分	4.5分
3・4年	40～50分	1時間以上
5・6年	1時間以上	1時間30分以上

#### 【おうちの方へ】

- ※ 通常の学習は「10分×学年+10分」が目安です。しかし、時間の多少に問わず、継続することが大切です。お子さんの取り組みを認めながら励ましてください。
- ※ 毎日わが子の宿題でふれ合う時間を生活の中に組み込み、お子さんの学習を見てあげましょう。また、不十分なところが目に付いてもいい点をほめながら、あせらず成長を待ちましょう。家の人に認められることで子どもは精神的に安心し、やる気もあきます。

### ◎ 自主学習の内容（例）

1. 「読み・書き・計算」の力をつけるために
  - ◎ 教科書などの自読（国語以外でもよい）
  - ◎ 漢字練習
  - ◎ 新出漢字の短文づくり
  - ◎ 視 写
  - ◎ ローマ字練習
  - ◎ 題詞句の意味調べ・短文づくり
  - ◎ 100マス計算
  - ◎ 計算問題練習 など
2. 読書力をつけるために
  - ◎ 読書をする。
  - ※ おすすめブックリストを参照に
  - ◎ 聞く人を意識した上で読み聞かせをする本を選ぶ。（相手意識を持った読書活動）
  - ◎ 読後の感想を伝える。 など
3. 授業で学習したことを定着させるために
  - その日学校で学習した内容の復習のために
  - ◎ ノートを見直す。
  - ◎ 大事なことをまとめる。
  - ◎ よくわからなかったことを調べる。
  - 予習のために
  - ◎ 語句の意味を調べる。
  - ◎ 教科書を読む。 など
4. 手先や体を動かすことで脳を活性化するために
  - ◎ 不用品で工作や小物作りをする。
  - ◎ 笛や鍵盤ハーモニカの練習をする。
  - ◎ 料理を手伝う。
  - ◎ 家の掃除をする。 など
5. 自然や社会を見る目を育てるために
  - ◎ 身の回りの植物や生き物を観察する。
  - ◎ 体験や発見を日記や作文、絵に書く。
  - ◎ 新聞記事から興味のある事情を選んで、わかったことをまとめる。 など

#### 【おうちの方へ】

- ★ 桜小学校では、「確かで、豊かな言語力」を育む学習指導法の研究に力を入れています。そこで、家庭学習においても「言語力」をさらに伸ばすために、◎の箇所を特に意識して家庭学習に取り組んでいただければ幸いです。
- ★ 各学年で「チェックシート」「自読カード」等を活用して学習の足あとを残り、お子さんが積極的に取り組めるようにしていきます。サインやコメントなど、家庭の協力をいただきながら、お子さんの力を伸ばしていきます。

## わかる！できる！よくなるために「自己マネジメント力」を身に付けよう！

### 〈Research「自分を知る」〉

★ 自分の課題を客観的にとらえよう！

「何がわかって、何がわからない？」  
「何ができて、何ができない？」



### 〈Plan「計画する」〉

★ 自分の課題にそった目標や計画を立てる。

わかる・できるようになるためには、  
「何を、どのような方法で、どのくらいの学習すればいい？」

### 〈Do「自ら学習する」〉

★ 計画にそって主体的に学習する。

「今だけでなく、将来の自分のためにも、計画にそって進んで学習するぞ！」

### 〈Check「確かめる」〉

★ 学習の結果や取り組みをふり返り、確かめる。

「時間内に集中してできたかな？」  
「自分が一番わかる・できる学習方法は見つかったかな？」  
「テストの結果に結びついたかな？」

### 〈Action「見直す」〉

★ 学習の内容や方法を見直し、修正する。

「休日の自主学習の時間は、〇時間にしよう！」  
「苦手な学習を強化するために、学習内容や方法を見直そう！」  
「睡眠も大事！だから、夕食前には自主学習を終わらせよう！」

## 第6学年自主学習パワーアップカード

### 〈自主学習の約束〉

- 1 自主学習を始める前に、日付と曜日、具体的なめあてを書く。  
(1ページの上の余白)
- 2 「1日びっしり2ページ」を目標にがんばる。  
Aメニューは必ず1ページ  
その他BやCメニューから1ページ
- 3 いろいろな教科がたよりなく取り組む。
- 4 肩や背が痛い、目や喉が乾く、直線は定期を使ってかく！
- 5 答えがあるものは、自己採点をして、まちがい直しする。
- 6 自主学習が終わったら、自主学習時間とめあてに対応したふりかえりを書く。  
(その日の最終ページの上の余白)
- 7 友達の自主学習ノートを参考にしながら、レベルアップをはかる。

### 〈自主学習のメニュー〉

★Aメニュー（復習・予習）※わからない・できないことを中心に

- ★復習→ 授業のノートを丸写しするのではなく、習ったところを自分なりにまとめでたり、似ている問題を教科書や参考書から探し解いたりする。
- ★予習→ 次の授業でやることを読んで、大切なところをまとめてたり、問題を解いたりする。
- ★まちがい直し  
→ テストやプリントなどでまちがえた問題をもう一度解き直す。

★Bメニュー例（わかりやすく文章で表現する）

- ★今日のニュース  
→ 新聞記事やニュース番組で気になったことを紹介するとともに、自分の思いや考えをまとめる。
- ★日記→ 五感をフルに使って、その日の出来事、自分の思いや考えをまとめる。
- ★読書感想文  
→ 読んだ本に対する感想をまとめる。

★Cメニュー例（内容を自分で考え工夫する）

- ★漢字練習（文中でも活用できるよう練習の仕方を工夫すること）
- ★敬語
- ★和語・漢語・外来語
- ★同じ読み方の漢字や同じ部分をもつ漢字集め
- ★意味調べ（漢字、言葉、ことわざ、四字熟語など）
- ★計算練習
- ★いろいろな単位のかん算
- ★面積や体積
- ★コンパスや三角定規を使った作図（合同、拡大図や縮図）
- ★日本の地形、自然、環境問題
- ★世界の大陸・海洋、国々の位置
- ★いろいろな国の国旗や首都
- ★日本の歴史上の主な出来事や人物
- ★代表的な文化遺産
- ★日本国憲法と政治の働き
- ★世界の中の日本の役割や我が国の国際交流や国際協力について
- ★理科の学習に関する課題について図鑑や辞典で調べ
- ★漢語写し、階名調べ、音符や記号の意味
- ★保健（心の健康やけがの防止、病気の予防）など

## 家庭学習のすすめ

西郷村立小田倉小学校



学習指導要領では「生きる力」を育てることをめざしています。そのためには、人間として「自立」（他から支援を待たず、自分の力でやっていくこと）、そして「自律」（自分の意思で立てた目標、ルールに従い行動すること）が求められます。学習面でも同じように、「自ら学ぶ力」が求められます。「自ら学ぶ力」とは、「先生や他の人に言われなくても宿題や課題をやることができる」「わからないことは自分で調べる」「自分のために学ぶとする意欲をもつ」という「自覚心」と、「目標に近づぐために苦しまずやり続ける」「興味・関心を持ったことをどこまでも追求する」「自分で考えて学習の仕方工夫する」という「自律心」に裏付けられた力です。

### 1 家庭での学習を習慣化しましょう

#### 学力アップは、規則正しい生活から

- 早寝・早起き・朝ご飯・朝の排便の習慣化
- お家の人とテレビやゲーム、インターネットを見る時間や使い方の約束を決める

#### 家庭学習の3つのポイント

- テレビやゲーム、iPad などから離れて
- 時間を決めて ○ 机の上をきれいにして

### 3 各学年で身に付けたい力

#### 1年生

- ① 鉛筆を正しくもって字や線を書ける。
- ② ひらがな、カタカナを読める。書ける。
- ③ たし算・ひき算の意味がわかり、計算ができる。（筆算は正しく、筆下がり、向かい向き、2行）
- ④ 時計が読める。（何時、何時半、何時何分）
- ⑤ 80字の配当漢字を全て読めて、8割以上正しく書ける。

#### 2年生

- ① 160字の配当漢字の全てを読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。
- ② 主題と述語の意味が分かり、順序よく話したり書いたりできる。
- ③ 時刻と時間の意味が分かる。長さや水のかさをはかることができる。
- ④ かけ算九九をすらすら唱えたり、たし算・ひき算の筆算ができたりする。

#### 3年生

- ① 200字の配当漢字やローマ字を正しく読んだり、書いたりすることができる。
- ② ことわざや慣用語を知り、敬語等を正しく使うことができる。敬語や敬語の意味が分かる。
- ③ かけ算やわり算の筆算ができる。小数・分数の計算ができる。長さや重さを測定できる。時刻・時間を正しく求めることができる。
- ④ コンパスを使って簡単な図形をかいたりできる。
- ⑤ リコーダーを正しく演奏することができる。

### 2 家庭学習の参考例（各学年共通）

#### 【国語】

- ・音読 ・視写 ・日記 ・作文（400字）
- ・意味調べ ・詩の暗唱 ・漢字練習

#### 【算数】

- ・視写 ・計算 ・文章問題の練習 ・作図

#### 【社会 理科 生活 総合 音楽 図工 家庭】

- ・視写 ・学習したことに関連する事柄を教科書、事典、インターネット等で調べる

#### 4年生

- ① 202字の配当漢字を全て読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。47都道府県の位置が分かり、漢字で正しく書ける。漢字辞典を正しく使える。
- ② わり算の筆算や小数、分数の計算ができる。
- ③ 分意図を正しく使える。並進や平行の意味やわかる。面積を求めることができる。
- ④ 理科の学習に使う用具（顕微鏡や顕微鏡、方位磁針、温度計、ガスコンロ）の使い方が分かる。

#### 5年生

- ① 199字の配当漢字の全てを読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。物語の構成、想像力、理解力。
- ② 小数のかけ算・わり算、分数の加減乗除を正しく解くことができる。体積を求めることができる。
- ③ 割合や単位あたりなどの大きさの意味が分かり、正しく解くことができる。
- ④ 世界の国や大陸の名称や位置、日本周辺の国の名称、我が国の領土が分かる。
- ⑤ 理科の学習に使う用具（けんぴん）の使い方がわかる。

#### 6年生

- ① 191字の配当漢字の全てを読めて、8割以上の漢字を正しく書ける。和語・漢語・外来語などの理解。
- ② 分数の加減乗除の計算ができる。比や差の意味を理解し正しく求めることができる。
- ③ 歴史上の主な出来事やそれに関わる人物について調べたり、理解したりすることができる。
- ④ 理科の実験器具（リトマス紙、ガスコンロ）の正しい使い方がわかる。

## 5年生 自主学習メニュー表

高野小学校



バランスよく学習計画を立てて、楽しくつづけていこう！

#### <パッチリメニュー>

国語	読む	書く	漢字
	<input type="checkbox"/> 語句の意味調べ <input type="checkbox"/> 物語の感想文 <input type="checkbox"/> 説明文の感想文 <input type="checkbox"/> 「言葉の学習」の練習 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 視写 <input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 日記 <input type="checkbox"/> 詩・俳句 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 漢字ドリルを活用して <input type="checkbox"/> 漢字の成り立ち調べ <input type="checkbox"/> 音訓調べ <input type="checkbox"/> 短文作り <input type="checkbox"/>
算数	<input type="checkbox"/> 計算練習 <input type="checkbox"/> 計算の仕方の説明 <input type="checkbox"/> 問題作り <input type="checkbox"/> 予習 <input type="checkbox"/> 復習（教科書やドリルを活用して）		
社会	<input type="checkbox"/> 大切な言葉（キーワード）の意味の確認 <input type="checkbox"/> 大切な言葉の練習（漢字練習のように） <input type="checkbox"/> 都道府県調べ <input type="checkbox"/> 地図調べ <input type="checkbox"/> 予習		
理科	<input type="checkbox"/> 復習（実験から分かること・大切な語句・実験器具の使い方） <input type="checkbox"/> 予習		

#### <ワクワクメニュー（例）>

国語	<input type="checkbox"/> ことわざ・四字熟語調べ <input type="checkbox"/> 作文・日記 <input type="checkbox"/> 物語作り <input type="checkbox"/> 詩・俳句作り <input type="checkbox"/> 読書感想文 <input type="checkbox"/> おすすめの本の紹介
算数	<input type="checkbox"/> 数のふしぎ <input type="checkbox"/> 図形のふしぎ <input type="checkbox"/> 数や単位などの考え方を見つけた人
社会	<input type="checkbox"/> 世界の国々調べ <input type="checkbox"/> 世界の〇〇ランキング <input type="checkbox"/> 都道府県〇〇ランキング <input type="checkbox"/> 新聞記事についての感想
理科	<input type="checkbox"/> 昆虫・動物・植物観察 <input type="checkbox"/> 星座調べ <input type="checkbox"/> 〇〇のひみつ
家庭	<input type="checkbox"/> お手伝い日記 <input type="checkbox"/> おかず・スイーツ作り（作り方・作った感想）
図工	<input type="checkbox"/> 折り紙の折り方
道徳	<input type="checkbox"/> ほかほかエピソード（友達の良いところさがし）
その他	<input type="checkbox"/> ローマ字で日記を書く <input type="checkbox"/> アルファベットの練習 <input type="checkbox"/> ペット紹介 <input type="checkbox"/> お気に入りの〇〇紹介 <input type="checkbox"/> 自動車や電車調べ <input type="checkbox"/> スポーツの練習の仕方 <input type="checkbox"/> 〇〇が上手になる方法紹介 <input type="checkbox"/> 生き物の飼育の仕方 など

## 家庭学習を充実させ、 学力をもっとのばそう！

渡利中学校

### 1 なぜ家庭学習が必要なの？

中学校での学習は、社会人として自立するための基礎となる「学力」を育てます。学校では基礎学力を身に付け、高めることを目指して授業を行っています。さらに、皆さんが家庭学習に取り組むことで、その成果を何倍にも高めることができます。「学力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だとしたら、どうなるのだろう」「なぜ…なのだろう」と、自分で意欲や疑問をもちながら、既習の知識を生かし、見直しをもって考えたり、表現したりする力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、「分かった」「できた」という体験が増え、学習が楽しくなります。そして、学習習慣が身につく学力の向上が期待できます。また、集中力やしっかりとした考え方が身につく、困難なことに出会ってもくじげず、積極的にチャレンジしようとする力が備わります。

#### ～学力をつけることは一生の財産～

- ☆知らないことが理解でき、学習が楽しくなる！
- ☆将来の選択肢（希望する高校や大学などの進学・やりたい仕事など）が広がる！
- ☆自分の考えが広がり、深まり、向上心をもって生きる（学び続ける）態度が身につく！

生徒のみなさん一人ひとりが、中学校の学習内容をしっかりと身につけ、夢や希望の実現を目指しましょう！

### 家庭学習のスタンダード(福島市版より)

### 2 どんなことをすればいいの？

家庭学習は「宿題＋自主学習」である

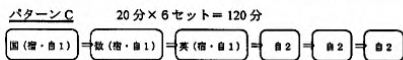
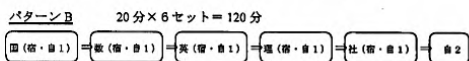
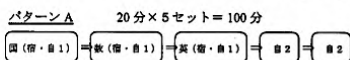
宿題	自主学習
授業における学習内容の習熟、補充的な内容 例) 学習プリント、ワークブック、教科書の問題、継続的に行う受験対策用教材(3年)等	自主学習1: 授業の復習予習、問題集、1・2年の学習内容の補充 自主学習2: 自己の目標実現のための学習(各種検定の準備、高校入試対策など)

- 技家・・・学習ノートを活用し重要語や事項等を書き出し復習
  - 保体・・・教科書やワークから理論に関する重要語や事項を書き出し復習
- ※ 終わりに、成果や反省を具体的に書きましょう。

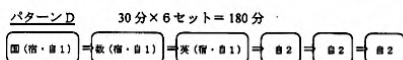
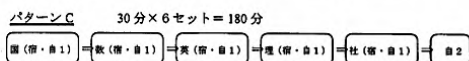
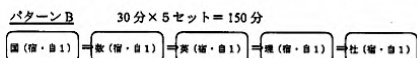
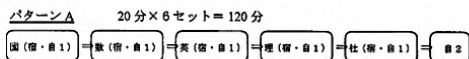
例) 英単語を○個覚えて書けるようになった。/ 計算ができるようになった。

### 3 家庭学習の取り組みの例

[1・2年生] ※時間はあくまで目安です。 宿: 宿題, 自: 自主学習



[3年生]



### 1・2年生:実力養成期

「学習内容・量を調整し、計画的・継続的に学習に取り組む」

- 自分の生活を見通して学習プランを立て、集中しやすい時間帯に集中しやすい場所で学習する。
- 何を学習しなければならないのかを考え、教科の組み合わせを工夫して学習する。
- 自主学習1(復習・予習)を中心に学習する。

### 3年生:完成期

「進路実現に向け、自立的に学習に取り組む」

- これまでの経験を生かし、自分なりの学習スタイル(時間、場所、取り組み方など)を確立する。
- 授業の復習・予習に加えて、自己の目標実現のための学習(自主学習2)にも計画的に取り組む。

### 【具体的な自主学習ノートの活用法】

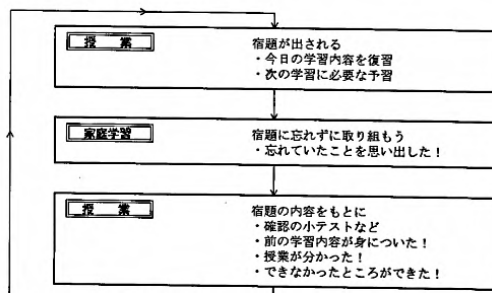
※ 始めにノートに、目標◎を書きましよう。例) Unit 3◎の単語を覚える。

- 国語・・・漢字の読み書き、語句の意味調べ、短文づくり  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
新聞記事の要約や感想記述
- 数学・・・間違えた問題のやり直し(計算の手順がはっきりわかるように・計算式をていねいに書く)⇒(正しくできるようになったら)速さも追求
- 英語・・・単語練習(必ず最後はテスト形式で確認)  
教科書の基本文の書き出し、自分で単語を( )にして解答( )の数を段階的に増やして最終的に英作文の練習  
ワークやプリント等のできなかった問題のやり直し
- 理科・・・教科書の重要語や記号、観察・実験についてのまとめ  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
重要語句や記号、公式等を繰り返し書いて練習
- 社会・・・教科書の内容のまとめ  
重要語句の書き出し、(その説明付き)  
本や新聞を読み、教科書の内容と比較し感想を記述  
(地理:各地をたずねた紀行文 歴史:学習マンガ 公民:新聞やニュースからの時事問題)
- 音楽・・・授業で教科書等にメモしたことをノートに整理  
習った歌についての記号の名前と意味の確認
- 美術・・・スケッチ・重要語句等の確認

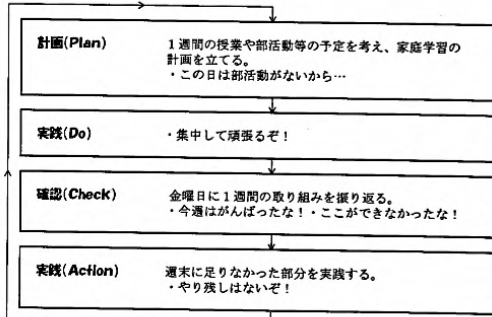


### 4 家庭学習をレベルアップさせるために！

#### ポイント1:「授業」と「家庭学習」のサイクル化



#### ポイント2:家庭学習のマネジメント・サイクル化

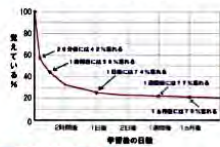


## 「家庭学習」は何のために？

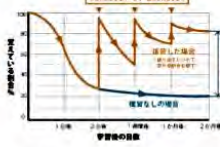
### 1 学習内容が定着する

学校で学習した内容を、授業で一度やっただけで覚えることは難しいものです。そこで、家庭でもう一度学習（復習）することにより、その内容の習熟・定着を図ることができます。特に語句や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。

エビングハウスの忘却曲線



繰り返し学習



### 2 脳が活性化する

毎日繰り返し学習することは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになるのです。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。

### 3 学ぶ習慣が身につく

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、それが当たり前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力になります。中学校のうちだけではなく、高等学校でも学ぶことは続きます。「生きていることは学ぶこと」社会人になってからも学ぶことは続くのです。今のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが非常に大切です。

### 4 子どもの心を育てる力があがる

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。集中力が身につけば、学習の定着度も上がります。更に、短時間で学習を行うことができるので、自分の時間も作れます。そうすれば、その時間で好きなことをすることもでき、いいことづくめです。

## 「家庭学習」は何をすれば？

**宿題と自主学習**です。学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信に変わります。宿題の確認と自主学習の計画は毎日の学活で行います。自主学習は、下表のとおり、R-POCAサイクルを通して、行いましょう。



## 「家庭学習」はどれくらい？

学年によって次の時間を目安に取り組みましょう。  
**1年生：1時間30分** **2年生：2時間** **3年生：2時間30分(体育日削減は4時間)**  
 適度な休養を取ると効果が上がります。時間を上手に使い、睡眠時間も確保しましょう。また、「ながら勉強」はやめましょう。

# 家庭学習の手引き

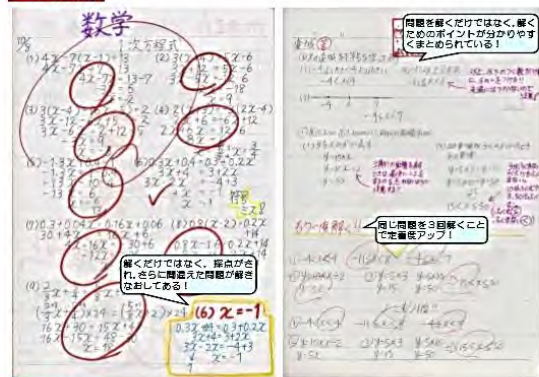


年 組 番 名 前

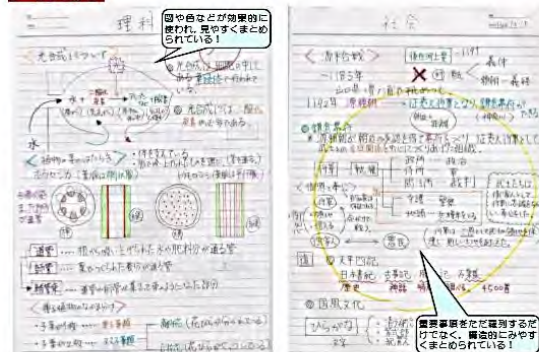
## 三春町立岩江中学校

## 自主学習の実践例

### 1 ドリル学習



### 2 まとめ学習



## 家庭学習の計画 実施するものに○をつけよう。 月

日(曜)	宿 題	自主学習	時間	担任	録帳
1日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
2日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
3日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
4日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
5日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
6日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
7日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
8日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
9日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
10日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
11日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
12日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
13日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
14日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
15日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
16日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
17日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
18日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
19日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
20日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
21日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
22日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
23日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
24日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
25日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
26日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
27日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
28日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
29日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
30日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			
31日( )	国・数・英・理・社・( )	国・数・英・理・社・( )			

実際にできたものには、赤で○をつけよう。

## なぜスケジュール手帳？

目標や夢をかなえようとしているスポーツ選手、タレントが「ノート」を利用しているのは有名な話です。サッカーの本田圭佑選手、テニスの錦織圭選手、フィギュアの羽生結弦選手、女優の有村架純さんも使っているそうです。その「ノート」に何が書いてあるのか？

その秘密がスケジュール手帳にあります。簡単にいうと『できる大人』が使っているということなのですが...。その秘密に迫るため、スケジュール手帳を利用して考えてみましょう。

## 基本的な使い方は

1 まずは裏表紙をめくって、名前、住所、連絡先、学校名、出席番号を書こう。

- 住所：福島県本宮市白岩字柳内 835
- 連絡先：0243-44-2009
- 学校名：本宮市立白沢中学校

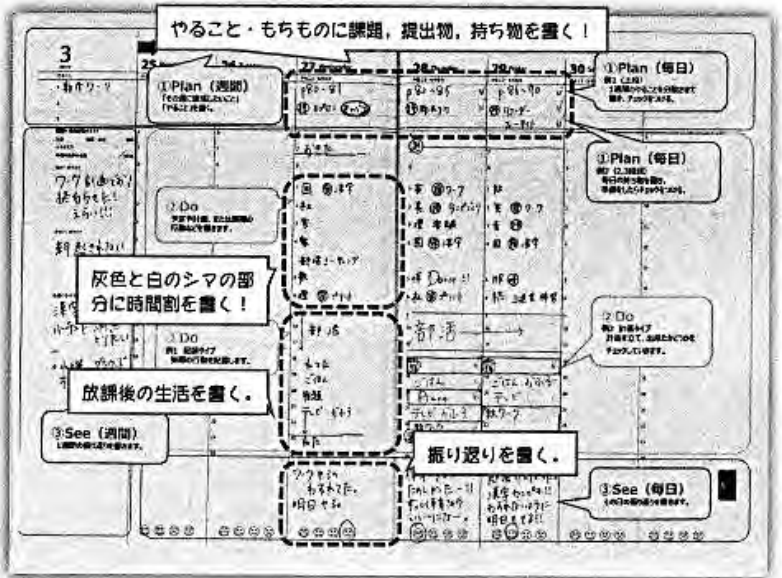
- 2 大事なことをすぐ書こう！開く習慣を！
- 3 放課後の時間の使い方を記録しよう。
- 4 1日を振り返ろう。

【注意】他人の手帳を勝手に見てはいけません。

## 使いこなすために

とりあえずできることからやってみましょう。はじめからカンペキを目指さないことが大切です。

- 1 日の流れで使い方を確認してみましょう。
- (※ プリントの裏に続きます。)



☆ 朝の学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 起床時間をメモする。</li> <li>・ 1日の予定や計画を確認する。</li> <li>・ 1日の予定や計画を書く。</li> </ul>
☆ 授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ すぐ出せるようにしておく。</li> <li>・ 移動教室に持っていく。</li> <li>・ やること、その週に達成したいことなどをメモする。</li> </ul>
☆ 帰りの学活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く。【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 翌日の予定、計画、持ち物を書き込む。</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> </ul>
☆ 自宅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手帳を開く【まずは開く！】</li> <li>・ 計画が実行できたかをチェックする。</li> <li>・ 1日の実際の行動を記録する。【とにかく記録！】</li> <li>・ 1日の振り返りを書く。</li> <li>・ 顔マークに○をつける。</li> <li>・ 翌日の予定、持ち物を確認する。【チェックも！】</li> <li>・ 就寝時間をメモする。</li> </ul>

次に1週間のスパン（期間）での使い方です。

☆ 週のはじめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「目標やテーマ」にその週に達成したいこと、やることを書く。</li> <li>・ 勉強時間の目標を決める。</li> </ul>
☆ 週のおわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1週間の勉強時間を累計して結果に記録する。</li> <li>・ 今週の自分の点数をつけてみる。</li> <li>・ 「ほめ！ポイント」にできたこと、がんばったこと</li> </ul>

- とを必ず書く。見つけて書く。【重要！】
- ・ 「来週にむけて」に抱負をまとめる。

## さらに使いこなす！

- ・ 肌身離さず活用しよう。

みんなが使いやすいように先生方もチェックの時間を工夫します。

- ・ プライベートの予定も書き込もう。
- ・ 少し先の予定も書き込もう。
- ・ 家族の予定を書き込もう。迎いの都合などを確認しよう。
- ・ ビニールカバーに重畳書類をはさみこもう。
- ・ やることを付箋に書いて、終わったら1つずつはがしていこう。
- ・ 毎日、書く言葉は記号を決めて書いたり、シールを活用したりしてみよう。例えば、勉強の「べ」、studyの「S」、learnの「L」など
- ・ 友人や家族の記念日、誕生日、好きなタレントの誕生日を書き込もう。
- ・ カウントダウンを書き込もう。
- ・ 例え、「支部中体連まであと〇日」、「白中祭まであと〇日」など
- ・ 巻末のメモ欄に講演会などで心に残った言葉を書き留めよう。
- ・ セルフマネジメントナビを参考にしよう。

## 『できる大人』の秘密

その秘密を解く鍵は「PDSサイクル」！今回はここまで。

## 家庭学習の意義とねらい

学習をしていく上で大切なことは「積み重ね、繰り返し」です。その日、その日に学習した内容をおろそかにしたのでは、次の時間の学習内容がよく理解できなくなってしまいます。たとえば、数学（算数）の授業時間に学習した内容を考えてみてください。必ず前の授業時間に学習した内容が理解されていなければ、新しい内容を理解することはできないようになっていきます。よく言われている、「授業」→「復習」→「予習」の学習サイクルが確立していないと難しさを感じるようになってしまうということです。だからこそ、家庭での学習がとても重要になってくるわけです。

授業をしっかり受け、家庭でそれを整理し、確かめ、そして足りないところを補ってこそ、効果があり、学習が楽しくなるのです。

## 家庭学習で身につけてほしい力

家庭学習を実践していくときにみなさんに身につけてほしい力として、「自己マネジメント力」があります。「自己マネジメント力」とは、自分で学習や生活を改善する力のことです。

- ① Research (リサーチ：自分を知る)
- ② Plan (プラン：計画する)
- ③ Do (ドゥ：自ら学習する)
- ④ Check (チェック：確かめる)
- ⑤ Action (アクション：見直す)

- ①では、「自分の得意分野や苦手分野を確認します」
- ②では、「得意分野をさらに伸ばすため、また、苦手分野を克服するために学習をどのように進めるか計画を立てます」
- ③では、「実際にワークやプリントを使った復習や、問題集などを利用した発展学習に取り組めます」
- ④では、「学習した結果、できるようになったのか、まだ不十分なのかを振り返ります（単元テストや定期テストがよい機会です）」
- ⑤では、「学習方法や内容が十分でない場合に修正を加えます」

①から⑤までの流れを家庭学習に取り入れていきます。そのためには、家に帰ってからの生活を見直すことも必要になってきますね。だからこそ「自己マネジメント力」を身につけ、学習も生活も充実させられるようにしましょう。

## 家庭学習の時間のとり方と学習の目安

### 家庭学習時間のとり方

#### 標準的な学習時間

※ 人によって時間のとり方は、違うと思いますが、通常中学生は、学年プラス1時間の家庭学習時間が必要です。本校では、学習内容を考えると以下の時間を家庭学習の標準時間とします。

1・2年生	2時間程度
3年生	3時間程度

### 【 家庭学習の目安について 】

- ★ 数学と英語は、勉強しない日がないよう毎日行う。  
(予習が効果的です。)
- ★ 国語、理科、社会は、自分の得意・不得意分野を確認した上で予習復習の方法を見つけ実践しましょう。
- ★ 音楽、美術、保健体育、技術・家庭は、課題が出された時に確実に提出できるように取り組みましょう。
- ★ 不得意教科対策を立てて取り組むことは、大変重要なことです。
- ★ 読書も計画的に行いましょう。寝る前など10分程度でいいので毎日「読書の時間」を作ってみましょう。
- ◇ 「R-PCDA」を意識して、家庭学習に取り組み「自己マネジメント力」を身につけていきましょう。  
勉強ばかりでなく・・・
- 学校行事の日程、家庭生活における自分の役割(家事手伝い)も考えに入れる。
- 睡眠、休憩、運動、レクなどの時間を十分にとり、健康面からも「むりなく・むだなく・むらなく」長続きするように考える。

## <家庭学習の進め方>

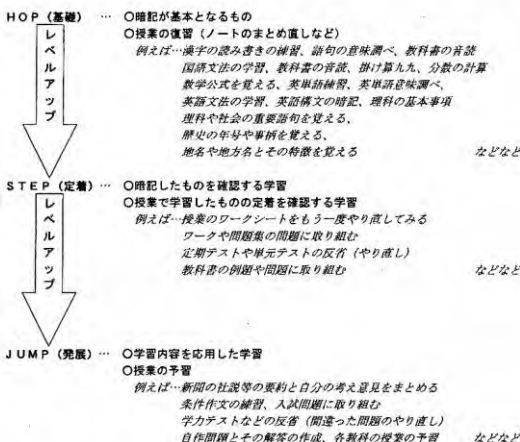
富岡一・二中三春校

国語	国語はすべての教科の基本。数学であれ理科であれ、文章を読む力がなければ問題を正確に解くことは難しい。長期的な視野に立ち家庭学習に取り組もう。 1 その日のうちに復習しよう。 漢字の書き取り練習をしよう。授業の内容を自主学習でもう一度まとめたり、ワークブックで問題を解いてみよう。 2 その他 読書に親しみ、読解力や語彙力を養おう。また、新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、社会の出来事にも関心を持ち、視野を広げ自分の考えを深めることも大切。
社会	社会は世界や日本で起きている様々なことに対して自分なりの考えや意見を持つこと、そして、同じ事柄に対しても複数の意見や考え方が存在することに気付くことが大切。 1 予習 次の授業で学習する教科書約2ページ分をよく読み、重要語句を確認しよう。 2 復習(1) 学習したことを、自分なりにまとめて理解しよう。 ・ 地理…地図を描いて、地形や気候、人口、産業の特色などを書き込みまとめよう。 ・ 歴史…歴史の流れがつかめるように、歴史上の人物や出来事を年表にまとめよう。 ・ 公民…専門的な用語の意味を教科書や授業のノートを活用してまとめよう。 (2) 授業で学習したことをワークで復習し、学習内容を身に付けよう。 3 その他 新聞等でニュースを見る習慣を付け、日本や世界の動きに注目しよう。
数学	数学は積み重ねの教科。基本がわからないと、どんどん大変になってくる。毎日の学習内容をきちんと理解していくことが大切。 1 予習をする ⇒ 教科書を2～3回読み、わからないところや重要だと思われる場所を確認しておこう。 2 その日のうちに必ず復習する ⇒ 授業で解いた問題をもう一度解いてみよう。できなかった問題は、できる(わかる)ようになるまで取り組もう。 3 週のまとめをする ⇒ 問題集を解き、1週間の学習内容を振り返る。間違いは消しゴムで消さずに、余白などにもう一度書き直そう。特に重要な部分は赤ペンなどで強調しておこう。
理科	理科は自然界のさまざまな原理や法則を理解して、それを活用できるかどうかが大切な教科。授業で学習した内容を家庭学習でしっかり振り返ろう。 1 今日学習したことは今日理解しよう。 (1) 重要語句やその意味をまとめよう。 (2) ワークブックやプリントなどで学習内容を振り返ろう。 ① 解く問題は、一問一答のものだけでなく記述式の問題、計算問題やグラフから読みとる問題について重点的に取り組もう。 ② 問題を解いたら必ず答え合わせをし、確実に理解しよう。 2 身の回りの現象や、新聞・テレビなどのニュースから自然現象に興味を持とう。
英語	英語は「毎日の積み重ね」が大切な教科。授業で学習した表現や新出語句をその日のうちに復習しよう。 宿題で復習することが英語力を伸ばすポイント！ 1 授業で学習した語句や英文を、ノートに何度も練習しよう。 ※ 「手本を隠して書けるようになるまで」練習しよう。練習したら自己テストをして、覚えるまでさらに練習することが大切。 2 新しい表現や文法をワークブックで復習しよう。 ※ まず自分の力で解き、その後すぐに解答、まちがった問題やわからなかったところは「解説」を読み、赤ペンで正答を書き込もう。 3 教科書本文を暗唱できるくらい、音読練習をしよう。

小名浜第二中学校

## 第1学年 自主学習の進め方

継続は力なり。毎日1ページ以上の自主学習を行いましょう。ただ…「何をやらしたいのか分からないなあ」「どんなふうにノートにやるのかな。」といった思いもあると思います。ここにいくつか例を挙げますので、参考してください。しかし、これに限ったことではありません。自分が自主学習を継続していく中で、自分なりのやり方や方法が見つかるかもしれません。どんな工夫を凝らして進めてみてください。



### ☆1学年での約束☆

- 1 毎日、ノートに1ページ以上をやること。(ノート1ページの8割以上は使用すること)
- 2 寝た後から朝の学活前に担任の先生の机に提出すること。(スマイルライフも一緒に)
- 3 自主学習は家庭でやってくる。(復習の直前や朝練の時間にあわせて学校でやったりしないこと)
- 3 各教科の宿題でやったものを、自主学習として提出しないこと。(自主学習は自主学習)
- 4 休日もやること。(例えば、土曜、日曜が休みであれば、金曜・土曜・日曜の分(3ページ以上)を月曜日に提出すること)



# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

小田倉小学校 第3学年 家庭学習カード 名前 No.

月日	れんらくやメモ	しゅくだいメニュー 習熟のこだい	家庭印	今日の学習の ふりがえり	担任印
(月)		①音読 ②かん字 ③プリント1まい ④自主学習 (2学期から)			
(火)		①音読 ②かん字 ③プリント1まい ④自主学習 (2学期から)			
(水)	レベル1 (夕食時だけ済す) レベル2 (2時間まで) レベル3 (1時間以内) レベル4 (朝食時だけ) レベル5 (ノーマディア)	レベル <input type="checkbox"/> にちようせん ノーマディアの取り組み		ノーマディアのほんせい	
(木)		①音読 ②かん字 ③プリント ④自主学習 (2学期から)			
(金)		①音読 ②かん字 ③プリント ④自主学習 (2学期から)			

おうちのかたから 連絡など

小田倉小学校第4学年 家庭学習カード 名前 No.

月日	習熟・準備時・メモ	課題・メニュー	ふりかえり	担任印
(月)	家庭学習時間 ( ) 分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>	習熟チェック	
(火)	家庭学習時間 ( ) 分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>		
(水)	家庭学習時間 ( ) 分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/> レベル1 (夕食時だけ済す) レベル2 (2時間まで) レベル3 (1時間以内) レベル4 (朝食時だけ) レベル5 (ノーマディア)	レベル <input type="checkbox"/> にちようせん ノーマディアの取り組み	ノーマディアのほんせい
(木)	家庭学習時間 ( ) 分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>		
(金)	家庭学習時間 ( ) 分	①音読 <input type="checkbox"/> ②かん字 <input type="checkbox"/> ③プリント <input type="checkbox"/> ④自主学習 <input type="checkbox"/>	4枚 1ページ	

おうちのかたから 連絡など

新年明けましておめでとございます。2019年のスタートです！  
5年生への進級が楽しみですね。目標をもって6年生の生活ができるように、力を付けましょう。  
＜学習と生活のメリハリ＞ 毎日のかたから 習熟・準備・メモ (月) (火) (水) (木) (金)

- 朝の準備をスムーズに行う。(提出物を出す 整理整頓 学習用品の確認)
- 朝のラッパや3分間定に切り替わる。(駅伝距離100m ゴールを目指す)
- はつきりとした姿勢で、気持ちの良い挨拶をする。
- 授業開始時刻までに学習準備をすまじ、着席する。
- 「今、何をすべきか。」考えて行動する。(始めのエンタツ ケじめのプレーキ)

桜小学校

## 家庭学習の記録と反省

6年1組11番 名前 ( )

家庭学習の時間……学年 × 10分 + 10分 70分 ABCで評価

月日	曜日	家庭・百録の記録 本の題名	読書時間	自主学習の内容	家庭学習 時間	評価	先生印
6/24	月	空想 ぼんぼり バナナは皮を剥いて おすしの尻持	60分	国英数社理保 読書時間 10分	10分	B	
6/25	火	ようこそ 私たちの町へ	5分	国英数社理保 テスト練習	74分	A	
6/26	水		4分	国英数社理保 租税の計算問題	80分	A	
6/27	木		4分	国英数社理保	72分	B	
6/28	金	ようこそ 私たちの町へ おすしの尻持	24分	国英数社理保 宿題 (50問)	99分	A	
6/29	土	せんねん せんねん おすしの尻持	12分	国英数社理保 テスト勉強 (50問) プリント	64分	B	
6/30	日	ようこそ 私たちの町へ	4分	国英数社理保 1学期までの学習問題	48分	B	

【1週間の反省】  
宿題が4日以上できなかったが集中して読めることができた。  
わては、た、自主学習として3冊目が終わるので集中して  
読書したい。おすしの尻持。

保護者印

東和小学校

## 家ていしゅうカード

2年

月日	こう目	学しゅう内よう	時間	家てい読書	サイン
5/6	音読 しゅくだい 自しゅうしゅう				家 学校
5/7	音読 しゅくだい 自しゅうしゅう	たんぽぽ けいこんドリル シートページ	50分 10分	家てい読書	家 学校
5/8	音読 しゅくだい 自しゅうしゅう	たんぽぽ ミッド(8)かん シートページ	50分 10分	家てい読書	家 学校
5/9	音読 しゅくだい 自しゅうしゅう	たんぽぽ ミッド(8)かん シートページ	50分 10分	家てい読書	家 学校
5/10	音読 しゅくだい 自しゅうしゅう	たんぽぽ ドリル シートページ	40分 30分	家てい読書	家 学校

今週読んだ本  
ふり 花まる まる (読書少し)  
かえり 自しゅうしゅう 6回 学しゅう時間 (合計) 240分間

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

東和小学校

## 家庭学習カード

3年1組

月日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日
曜日	月	火	水	木	金	土	日
音読	ういせんのうた	ういせんのうた	英語のうた	英語のうた	自分をしょうかい	自分をしょうかい	自分をしょうかい
宿題	プリントP5⑩まで プリント①	プリントP5⑩まで プリント④	プリントP5⑩まで プリント③	プリントP5⑩まで プリント	プリントP9まで プリント2まで		
自学	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。	自分で考えてやる。	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。	自分でかんがえてやる。
読む	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。	35分いじょうべんきょうする。
始まる時間	3:48	4:00	2:10	4:00	4:00	2:00	1:00
終わる時間	5:1	5:1	5:1	5:1	5:1	4:1	4:3
出来事	自分でかんがえてやるので見て下さい。	今日は理科の先生をしかくにかきました。	今日は、くまの先生をしかくにかきました。	今日は、プリントの先生をしかくにかきました。	今日は、かんがえてやるので見て下さい。	今日は、かんがえてやるので見て下さい。	今日は、かんがえてやるので見て下さい。
感想	自学、自分で勝手にやる。かんがえてやる。(印)	かんがえてやる。(印)	自分でかんがえてやる。(印)	自分でかんがえてやる。(印)	自分でかんがえてやる。(印)	自分でかんがえてやる。(印)	自分でかんがえてやる。(印)

5年

自主学習表

組番 名前

東和小学校

日	曜日	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24時	テレビ 利用時間 (分)	時間合計 (分)		
4/9	火	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	60	90	印
4/10	水	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	60	80	印
4/11	木	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	60	70	印
4/12	金	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	60	70	印
4/13	土	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	60	80	印
4/14	日	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	学校	60	60	印

自主学習の時間は 毎日60分(音読・読書の時間をふくむ)を目標とします。宿=宿題 読=読書 O印=〇〇プリント 漢ド=漢字ドリル

この表は、学校がある日は必ず先生に提出して下さい。

模=模写 休短=俳句・短歌 国フ=国語プリント 計ド=計算ドリル

音=音読 漢=漢字練習 算プ=算数プリント 国ド=国語ドリル

正しい姿勢で、集中して学習をしてください。(テレビを見ながらなどはダメ) メ=メディア利用の時間(テレビ・ゲームなど) お=起きた時間 ね=布団に入った時間

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

## 学習計画表

松山小学校

6年 番 名 前

日付	家 読	宿題・持ち物など	自主学習	勉強計画 (勉強時間をペンでぬりましょう)							反省	印(サイン)	
				3	4	5	6	7	8	9		10	保護者
／											A・B・C		
(月)	【  】分	メモ		予定							【一言日記】		
				実際									
／											A・B・C		
(火)	【  】分	メモ		予定							【一言日記】		
				実際									
／											A・B・C		
(水)	【  】分	メモ		予定							【一言日記】		
				実際									
／											A・B・C		
(木)	【  】分	メモ		予定							【一言日記】		
				実際									
／											A・B・C		
(金)	【  】分	メモ		予定							【一言日記】		
				実際									

(学期使用)  
【上学年用】

## 家庭学習チェックシート

年 番 名 前

- ☆ お家の人と一緒に、自分の家庭学習のようすをふりかえてみよう!
- ☆ 毎月、この中からめあてを決めて取り組もう!
- ☆ お家の人と一緒に、めあてについてふりかえろう!
- ☆ できるようになったところに、日にちを書き入れよう! ◎のらん、日にちが書けるようがんばろう!

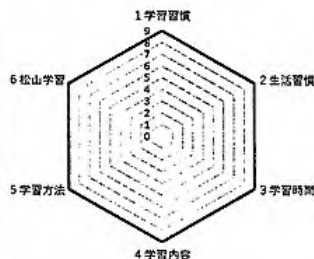
できたところに日にちを書いてね

		◎ みにみた	○ できる	△ もう少し
1 学 習 慣	① 家の人に言われなくても、自分からすすんで家庭学習をしている。			
	② テレビを消して、ゲーム、スマホなどをやめて学習に集中している。			
	③ 宿題を全部やりとけて、きちんと提出している。			
2 生 活 慣	① 毎日、早ね早起きをし、すいみん時間をしっかりとっている。			
	② 毎日、ほぼ同じ時間に、朝ごはんとはんごはんを食べている。			
	③ 一日にテレビを見る時間や、ゲームやスマホをやる時間を決めている。			
3 学 習 時 間	① 決まった時刻に学習を始めている。			
	② 50分(決められた時間)以上 学習している。			
	③ 学習カードを活用して、予定の時間通りに学習している。			

松山小学校

		◎ みにみた	○ できる	△ もう少し
4 学 習 内 容	① 苦手な教科やむずかしい問題にも、がんばって取り組んでいる。			
	② 授業のよ習やらく習をしたり、テストの見なおしをしたりしている。			
	③ いろいろなしゅるいの本を読むようにしている。			
5 学 習 方 法	① 「〇ページやる」「〇分間やる」など、めあてを決めて学習している。			
	② 分からないことはそのままにせず、調べたり聞いたりしている。			
	③ 計画した通りに家で学習できたか振り返り、よくしようとしている。			
6 松 山 学 習	① 自主学習に、すすんで取り組んでいる。			
	② 字をていねいに 書いている。			
	③ 自主学習でしたことを 次の授業に生かそうとしている。			

☆ 読書してみよう。



- ① ◎3点、○2点、△1点とし、レーザーチャートに点数を入れてみよう。
- ② 次の目標を書いてみよう。

# 2 家庭学習カード、学習計画、チェックシート等

白沢中学校

(別紙)

## 学習・生活 振り返りシート

学年  組  番号  氏名

このシートは、自分の学習をよりよくなるために、学習や生活の様子を振り返るものです。それぞれの項目の4~1の数字のあてはまるところに、一つずつ○をつけましょう。学校の成績とは関係ありませんから、ありのままを答えましょう。(4:とてもあてはまる 3:少しあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない)

評価項目	自己評価					○自分が良くできているところ ●改善が必要なところ
	4	3	2	1		
1 学習習慣	① 家の人に言われなくても、自分から進んで家庭学習をしている。	1	2	3	4	
	② テレビやゲーム、スマホなどの誘惑に負けないで学習している。	1	2	3	4	
	③ 正しい姿勢で机に向かっている。	1	2	3	4	
	④ 宿題を全部やりとげ、提出日に遅れずに出している。	1	2	3	4	
	⑤ 宿題がなくても、毎日学習している。	1	2	3	4	
2 生活習慣	① 毎日、早寝早起きをし、睡眠時間をしっかりとっている。	1	2	3	4	
	② 毎日、ほぼ同じ時間に、朝ご飯と晩ご飯を食べている。	1	2	3	4	
	③ 一日にテレビを見る時間や、ゲームやスマホをする時間を決めている。	1	2	3	4	
	④ やるべきこと(部活、習い事、家庭学習、手伝い、入浴など)と、やりたいこと(友人との交遊、趣味・読書など)のバランスをとって、生活している。	1	2	3	4	
	⑤ うがいや手洗い、適度な運動などを行い、健康管理に努めている。	1	2	3	4	
	⑥ フォーサイトに「明日の予定」「やるべきこと」「ほめポイント」「さらにポイント」を記録し、自分の生活改善に役立っている。	1	2	3	4	
3 学習時間	① 決まった時刻に学習を始めている。	1	2	3	4	
	② 平日(月~金)の学習時間をおおよそ決めている。	1	2	3	4	
	③ 土日や祝日など学校が休みの日の学習時間をおおよそ決めている。	1	2	3	4	
	④ 決めた学習時間の間は、集中して学習している。	1	2	3	4	
	⑤ 学習内容によって、時間配分を工夫している。	1	2	3	4	

評価項目	自己評価					○自分が良くできているところ ●改善が必要なところ
	4	3	2	1		
4 学習内容	① 苦手な教科も学習している。	1	2	3	4	
	② 難しい問題や課題にも、がんばって取り組んでいる。	1	2	3	4	
	③ 授業の予習や復習をしたり、テストの見直しをしたりしている。	1	2	3	4	
	④ 「調べ」「まとめる」「練習する」など、多様な学習方法の中から自分の課題に合った方法を選んで、取り組んでいる。	1	2	3	4	
	⑤ いろいろな種類の本を読むようにしている。	1	2	3	4	
5 学習方法	① 自主学習に、積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	
	② テストや定期考査の前には、計画を立てて学習に取り組んでいる。	1	2	3	4	
	③ ページ数や問題の数、時間、点数など、やりとげる目標を決めて学習している。	1	2	3	4	
	④ 見直しや答え合わせ、間違え直しなどをし、学習の振り返りを行っている。	1	2	3	4	
	⑤ 分からないことはそのまませず、調べたり聞いたりしている。	1	2	3	4	
	⑥ テスト計画表やフォーサイトを活用して、見直しをもって学習に取り組んでいる。	1	2	3	4	
6 授業	① 「今日の授業で何を学習するか」を明確にして、授業に臨んでいる。	1	2	3	4	
	② 話し合い活動に積極的に参加し、自分の意見をきちんと周りに伝えることができる。	1	2	3	4	
	③ 友だちの思いや考えを聞いて、自分の考えを深めることができている。	1	2	3	4	
	④ 授業の中で学習したことを振り返るようにしている。	1	2	3	4	
	⑤ 授業の中で出てきた疑問について、後から調べたり、誰かに聞いたりして、解決するようにしている。	1	2	3	4	

## 第2学期中間テスト 学習計画表

組 番 氏名 高田中学校

- 共通目標① 計画を立てて、それに沿って家庭学習する。  
 ② 課題を提出日に遅れずに出す。  
 ③ テレビ・ゲーム・スマホの誘惑に負けないで学習する。

中間テスト、これを頑張る！！

7月(月)	1	2	3	4	5
	理科	英語	国語	社会	数学

<学習の計画とあしあと> ☆充実度…A:計画以上にできた B:計画通りにできた C:計画通りにいかなかった

日	曜	行事など	計画(教科・内容)	学習予定時間(分)	実際時間(分)	充実度	チェック
24	火	短縮時程					
25	水	両沼新人総会大会					
26	木	両沼新人総会大会					
27	金	両沼新人総会大会(予備日)					
28	土						
29	日						
30	月						
1	火	自由参観の日					
2	水	ノ一復活デ フック物洗口					
3	木	県中体連駅伝大会					
4	金	県中体連駅伝大会 英語検定 中間テスト前部活動中止					
5	土						
6	日						
7	月	中間テスト 議案書審議					

小田倉小学校  
小田倉小学校

## 家庭学習確認の時間（家学タイム）計画

1. 目的

自ら学ぶ力（その日学習したことを振り返る、メディアコントロールができる、家庭学習の計画を立てたり実行したりすることができる、もっと難しいことや補充が必要なことに気づき新たな計画を立て実行することができる）を育てる。

<下学年>

- ① 宿題は必ずしなければならない課題（主に「読む」「書く」「計算する」などの基礎学力を身に付けることをめざす）であることを理解させる。
- ② 1日の学習の反省を行い、よく理解できなかった内容を考えさせる。  
（苦手な内容をカバーする）  
方法：必要に応じて、個別にアドバイスをしたり、チェックをしたりする。
- ③ 宿題の内容を伝える。
- ④ 明日の学習の予定を知らせる。（興味ある課題に挑戦する）

<上学年>

- ① 自主学習の進め方や視点等について具体的に指導し、宿題だけでなく、自主学習を行うことで、自分で課題を見付け、追求する力が育ち、思考力や表現力など、社会人として必要な力が身に付くことを理解させる。
- ② 1日の学習の反省を行い、よく理解できなかった内容を考えさせる。  
（苦手な内容をカバーする）  
方法：必要に応じて、個別にアドバイスをしたり、チェックをしたりする。
- ③ 宿題の内容を伝える。
- ④ 明日の学習の予定を知らせる。（予習の習慣を促す。興味ある課題に挑戦する）
- ⑤ 自主学習の内容を考えさせる。 ⑥ 自主学習に取り組む。

2. 時間

通常日課 14:25～14:35（10分間）  
短縮日課 13:50～14:00（10分間）

3. 方法

児童各自が1日の学習を振り返り、明日の学習予定の確認を行う。宿題については、担任から児童に伝え、連絡帳やプリント（3～6年は家学ファイルを使用）に記入する。自主学習の内容については、「得意なことを伸ばす」「苦手な内容をカバーする」「興味ある課題に挑戦する」の3つの視点で考えさせる。自主学習が決められない児童に対しては

- 担任が与えたメニューの中から選ばれる。
- 下位児については学習する場所を提案する。

などの支援を行う。「学習の手引き」及び「各学年で身に付けたい力」も参考にさせていただきます。

4. その他

「得意なことを伸ばす」「苦手な内容をカバーする」「興味ある課題に挑戦する」の3つの視点にあった自主学習を行っている児童のノートを賞賛し、コピーなどをしてクラスや学年の児童に紹介をする。（形式は教育計画（家庭学習カード）より）

小田倉小学校

# 家学タイム

普通日課、短縮日課にかかわらず行います。CDを使用します。1年生から6年生まで同じ時間に、少しずつアップデートしながら積み上げていくことで、  
「自分の学習状況を振り返る力、計画を立てる力、  
実行する力、工夫・修正する力」を育てていきましょう。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
始める前	CDを準備し	係の子がCDや必要なもの（連絡帳、家学ファイル、漢字ノートなど）を出す	Next Panelを準備し			
家学タイム	1学期 家族になったら、席につく、帰りの用意をする。 例) 読み聞かせ 読み盛り	1・2学期 連絡帳へ必要なことメモができるようにする。	3学期 家学ファイルへの移行を考えて2週間程度カードに書く練習をする。	1 今日の漢字学習 2 連絡記入 3 振り返り 4 担任印・自分を役立てる・整理整頓 6校時準備 5 帰りの用意	5年生 ・自主内容の選択紙から選ぶ ・指定自学を行う ・係の子がおすすめ自学を伝える	6年生 ① 連絡事項・今日の学習の振り返りを記入する ② 自主学習へ取り組む （宿題は自宅で行う、あくまでも自主学習計画・実行の力を育む） ③ 片付ける・机の中の整理整頓 ※ 担任確認印は翌日
終わった後	CDや、家学タイム掲示を片付ける 帰りの会・さようなら					
宿題と自学	①音読 ②暗算・計算 ③プリント ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント ④作文・日記 ⑤自主学習 （1ページ）	①音読 ②漢字 ③プリント ④自主学習 ⑤作文・日記 （1ページ）	①音読 ②漢字 ③プリント ④自主学習 （1～2ページ）	①音読 ②漢字 ③プリント ④自主学習 ⑤作文・日記 （2ページ）

※7学年の子どもたちも含め、個や学級の実態に応じて、育てていきましょう

東和小学校

## 8 学力向上推進計画

1 ねらい

児童が将来にわたって自己実現を図ることができるようにするために、日々の授業を基盤とし、義務教育の9年間を見据えて、一人一人に確かな学力を育むことができるようにする。

2 内容

(1) スキットタイムについて  
授業スタンダードを活用し、授業の質的改善を図る。

(2) スキットタイムについて  
（ねらい） 学習内容の補充・発展を図るとともに家庭学習の仕方について指導する。  
（日 時） 火曜日、木曜日 13:15～13:35  
（内容等） 補充・発展問題  
（留意点） 授業との関連を図る。

(3) 学習の手引きについて

- ① 「国語科」「算数科」の学習の手引きに基づいて授業を進めていくようにする。
- ② 学習の手引きとノートの使い方は、印刷して児童に配付し、ノートの表紙に貼って活用していきけるようにする。また、教員に指示しておく。

(4) 学習の約束について

- ① 「東和っ子の学習の約束」に基づいて、よりよい学習習慣を形成したり学習環境を作ったりすることにより学力の向上に努める。
- ② 月末に反省する時間を設け、自己の振り返りさせるとともに、家庭への啓蒙を図る。

(5) 小・中連携について

- ① 授業力の向上を図る。  
○ 小学校教員と中学校教員が、互いの授業を参観したり授業研究会に参加したりすることを通じて研修を図る。
- ② 学習習慣が、小学校と中学校の9年間を通して、連続したものになるようにする。  
○ 発達段階に応じた家庭学習の習慣化への指導
- ③ 小・中学校の教員が相手の取り組みを知り、理解する。  
○ 授業への意見交換会、生徒指導に関する情報交換、施設・設備の相互活用、各種行事に対する相互支援

(6) 家庭学習について

- ① 時間の目安  
○ 学年×10+10分（1年…20分、2年…30分、3年…40分、4年…50分、5年…60分、6年…70分）
- ② 留意点  
○ 宿題の他に「自主学習」を推奨し、自分で課題を設定し、自分の課題に沿った学習に取り組ませるようにする。（「家庭学習スタンダード・家庭学習の手引き」の活用）  
○ 学年に応じて、児童の意欲を高め、家庭学習の習慣化を図る手立ての工夫をする。

(7) 学力テスト対策について

- ① 各種テストの年間計画

実施月日	検査名	実施教科	実施学年
4月11日	ふくしま学力調査	国語、算数	4～6年
4月18日	全国学力・学習状況調査	国語、算数	6年
2月20日～2月21日	NRT学力検査	国語、算数、理科、社会	1～2年、3～6年

② 内容

各種問題	実施学年	実施時期
全国学力調査の過去問題	5～6年	5年3学期～
活用力育成シート	4～6年	通 時

③ 方法

- 分析結果を活用し、授業やスキットタイム、家庭学習等で、繰り返し取り組ませる。
- フォローアップシート（4～5年）、ジュニアオリエンテック問題（5～6年）は、適宜取り組ませる。

高野小学校

# ぐんぐん

学力向上委員会より No.1  
平成30年4月13日（金）  
文 眞

毎週水曜日はノーゲーム・読書デー！ ☆5月からスタート☆

昨年年度までは、0のつく日がノーゲーム・読書デーでしたが、今年度からは毎週水曜日にしたと考えています。  
・毎月1枚の記録用紙に記入  
・めあてとふりがなりの記入

高野小家庭学習スタンダードの作成

主体性をはくむ家庭学習を目指し、学習時間の目安や学習内容、取り組み方について共通理解を図りたいと思います。

ふくしまの「家庭学習スタンダード」では・・・

学校の取組として

- ① 共通理解を図り指導します。  
（学年に応じた「家庭学習の手引き」・宿題の内容や量の調整）
- ② 授業と家庭学習をつなげます。  
（予習・復習を効果的に生かした授業）
- ③ 内容・方法を指導します。  
（学習内容・方法、時間、ノートの使い方）  
（「調べる・考える・書く」を中心とした活用型の宿題）
- ④ 協力・連携体制を築きます。  
（小中学校間での共通理解）  
（家庭学習についての子どもと保護者からの相談の機会）

課題の時間をお借りして、少しずつ進めさせていただきます。先生方から様々なアイデアをいただき、よりよいスタンダードをつくりあげていきたいと思ひます。  
まずは、③の学習内容から作成します。詳しくは別紙をご覧ください。



令和元年度版「家庭学習スタンダード」自校化推進全体計画

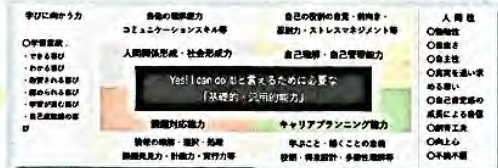
いわき市立高野小学校

…高野小・内郷三中教育課程達成共通スローガン「Yes! I can do it(私ならできる!)」という子を育てるために…



本校児童における  
学校生活における

- ① 習ったことはきちんと行う子どもが多く、まじめで授業態度も高い。特に授業後は自主学習の時間や宿題の取り組みに自主学習のスキルが身に付いている子どもが多い。
- ② 小規模学校特有の人間関係に馴染みやすく、ソーシャルスキルトレーニングの必要がある子どもも少ない。
- ③ 主体的で積極的に授業に参画する子どもが多く、授業中の発言や質問も積極的である。
- ④ 中学生や高校生の進路希望が多く、進路に関する相談を受ける機会が多い。



- ⑤ まじめに取り組む子どもとあきらまじりなりの子どもが多い。個人差は大きい。個人差の幅は、個人差の幅以上に家庭環境や関心などの違いがある場合もある。
- ⑥ ゲームや動画視聴に時間を費やす傾向がある。
- ⑦ 学習の習慣化に関する取り組みは少ない。学校での学習の習慣化は進んでいない。
- ⑧ 学習の習慣化に関する取り組みは少ない。学校での学習の習慣化は進んでいない。
- ⑨ 学習の習慣化に関する取り組みは少ない。学校での学習の習慣化は進んでいない。

家庭学習の  
実践の  
主体性  
学習の  
習慣の  
実践

学校としての確かな方針を示し、家庭と連携しながら、子ども自身が自らの考えで進んで家庭学習に取り組むことを通して生きていくための基礎的汎用的能力を含めた豊かな人間性の向上をめざして

学校児童の実態とめざす姿を特定した学校教育課程推進ビジョン

学校としての家庭学習の価値や方針の明確化	取組Ⅰ 保護者への説明	取組Ⅰ 保護者会での校長の説明・授業資料 資料①「くんでん伸びる家庭学習」 資料②「くんでん伸びる家庭学習 学習メニュー2019」
	取組Ⅱ 保護者研修	取組Ⅱ 保護者全体会やPTA 母親委員会での保護者研修 資料①「保護者全体会 ゲームに集って」 資料②「PTA 母親委員会子どもと読書について考えよう。」要項
	取組Ⅲ 自主学習	取組Ⅲ 家庭学習の計画化と自己反省の取組 資料①「自主学習メニュー表」 資料②「自主学習カレンダー」(たててくん) 資料③「学習カレンダー・家庭学習の記録」
	取組Ⅳ 読書推進	取組Ⅳ 学校図書館の積極的な利用と読書推進 資料①「ノーゲームデー」から「ノーゲーム・読書デー」へ 資料②「読書ポイントカード」 資料③「令和元年度読書表」
	取組Ⅴ 生活習慣	取組Ⅴ 望ましい生活習慣を育成するための「親子でチェック」 資料①「こうつあせんけん用子でチェック」 資料②「かていけいしゅう用子でチェック」
	取組Ⅵ 教員研修	取組Ⅵ 授業と家庭学習をつなぐ自主学習のための教員研修 資料①「家庭学習実践研修」

現職教育 実技研修会

令和元年6月14日(金)

家庭学習まる付け OJT

運動会が終わり、授業や家庭学習も落ち着いてできる季節になりました。この機会に自主学習ノートや漢字ノートのまる付けについて研修を行い、先の方のスキルアップをめざしたいと思います。

以前、秋の小学校の先生と意見交換をした時、秋のたくさんの方の小学校では、校内研修を生かして、まる付けの研修を行っているとのことがありました。その時、指導助言をした方は、そういう取組が秋の全国学力学習状況調査の高さの原因になっているのではないかと話をしていました。

まる付けは、教師個人のスキルでかなり左右されます。また、その先生の忙しさにも左右されます。子どもたちに出している宿題の量にも左右されます。しかし、それぞれの先生方のまる付けの仕方や考え方の情報を交換しただけでも参考になると思います。

1 目的

- ① 子どもの意欲を高めるまる付けの仕方を研修する。
- ② まる付けに関する情報交換や悩みを共有する。
- ③ いろいろな学年の自主学習を見ることにより、発達段階や個人差に応じた自主学習の在り方を研修する。

2 研修

(研修1) 校長の自主学習ノートへの思い

ケース1 5年生 のノート  
このように自主学習ノートの用紙に目標を設定している子どもには、そのノートが終わるたびに「おめでとうケーキ」を書いてあげていました。

ケース2 3年生 の自主学習ノート  
自主学習の題名「こうつあタイム」や「コンパス」等の書くスペースがあるこのノートは、いいなあと思いました。書くスペースがなくてもこういう題名を書く

三春町立岩江中学校

1 「家庭学習」(宿題+自主学習)についての全職員での共通理解事項

- 家庭学習 (宿題+自主学習)の在り方 (目的、内容、量など)
  - 「家庭学習の手引き」の作成・活用
  - 清りの学活時の家庭学習の計画記入・担任確認
- 宿題の点検と活用の仕方
  - 教科員の活動、授業等へのつながり
  - 生徒の負担を考慮した各学年・学級、各教科からの家庭学習 (宿題+自主学習)の出し方
  - 「家庭学習掲示板」の作成・活用 (教科員の活動)
- 学年や個人差を考慮した、また、学習内容や習熟度に応じた宿題の出し方
  - 教科担任の工夫 (可能な範囲で)
  - 保護者への協力のおねがいおよび啓蒙の仕方
  - 年度当初に文書配付
  - 「家庭学習スタンダード」の活用とともに「家庭学習の手引き」内の計画・記録欄への押印

学級	国語	数学	自主	その他
1の1	なし	アリ		1p
3の2	アリ	なし	2p	3p

※教科員が記入する。マゼンタの枠(1)も併用する。記入しなくて済むために、なしの場合も記入する。教科員が記入するスペースの確保、実施記録も併用。

2 「家庭学習」(宿題+自主学習)の実施にあたっての留意点

- 必要性を生徒に伝える。
  - 「家庭学習の手引き」を用いたガイダンス
- やり方を具体的に教える。
  - 学級担任、教科担任、それぞれの立場でのアドバイス
- 分量・内容を考える。
  - 場合によっては、子どもの能力や興味・関心、習熟の程度に応じた出し方
  - また、子どもの負担も考え、最も効果的な分量や内容で
  - 「家庭学習掲示板」を活用して、教科・学級間での調整も大切
- 学習の習慣化につながる取組にする。
  - 学習への意欲を高めることで、学習の習慣化に
- 提出させた後のことも考える。
  - 子どもの努力を認め、励ますようなチェックの仕方の工夫 (可能な範囲で)
    - 採点が必要なのは、全員の提出物の採点
    - 間違っているところのチェック・添削等
    - 全員の宿題に目を通し、ほめる言葉・励ます言葉等、コメントの記入
    - よくできたところの賞賛、間違ったところは、分かるまで指導
    - よかった内容、特徴的なこと、優れた発想などについての紹介
    - 間違いが多かった問題を授業で取り上げるなど、宿題を「次の授業に生かす」こと
- 教師自身、出した宿題について振り返りをする。
  - 「自分の出した宿題はどうだったか」ということを、子どもの取組の様子を見ながら自己評価や工夫改善
  - 教師間で情報交換をし、効果的な処理の仕方や評価など、よい実践があったら、それらを取り入れる

3 ふくしまの「家庭学習スタンダード」の活用

家庭での学習の充実のために、ふくしまの「家庭学習スタンダード」を参考にして、子どもたちの「自己マネジメント力」を育む。

**渡利中学校家庭学習スタンダード**

家庭学習のスタンダード(福島市版より)

渡利中学校

生徒の学力の向上は、本校にとっても大きな課題の一つであり、現職教育を中心とした授業改善、「家庭学習スタンダード」を活用した組織的な家庭学習の指導によって生徒一人ひとりの「確かな学力」の育成を図る必要があります。さらに、生徒が生涯を通じて自己の向上に努め、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくためにも、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていく中で自己マネジメント力を高めていくことが大切になります。

**1 家庭学習の重要性と学校としての取り組み (1) 重要性**

- ①「生涯を通じて自己の向上に努める」基盤づくり  
 変化の激しいこの時代においては、職業の在り方や働き方、社会の在り方そのものも激変を遂げていくことが予想されます。このような時代の中で、生徒たちが未来を切り拓き、生涯を通じて社会で活躍し、豊かな人生を歩み続けていくためには、社会に出た後も学び続け、新たに必要とされる知識や技術を身に付けていくことが求められます。学校教育では、生徒たちに「生涯を通じて自己の向上に努める」基盤をつくるのが重要であり、それは、学校における学習のみでなく、家庭学習を通して培われていきます。
- ②「学力」と「自らの学びをマネジメントする力」の向上  
 「学校での学習→家庭での予習・復習→学校での学習」というサイクルを確立することで学習内容が確実に定着します。また、授業で学習したことをその日のうちに家庭で繰り返し学習することにより、記憶がより確かになります。予習をすることで見通しがもてたり、予習で分からなかったことが授業で明らかになり、意欲的に授業に取り組むことができるようになります。授業と家庭学習が連動することで、「分かった」「できた」という体験が増え、学習が楽しくなります。そのようなことが、生徒たちが主体的に取り組むきっかけにもなり、自らの学びをマネジメントする力も育っていきます。これが生涯を通じて学び続ける態度の基盤となります。

**(2) 学校として取り組み**

- ①共通理解を図り、系統的・計画的な指導を組織的に行う  
 「渡利中学校家庭学習スタンダード」を系統的な指導のめやすとし、全教員・保護者・中学校区で確認し合い、組織的に家庭学習の指導を行う中で自らの学びをマネジメントする資質や能力を育成していきます。
- ②家庭学習の「質」と「量」を重視した点検・評価を行う  
 学年に応じて自主学習の「質」や「量」を高めていきます。授業の復習や予習だけの学習から、検定等の対策や高校入試対策など自己の目標実現に向けた学習への移行を進め、自ら課題意識や必要感をもって家庭学習に取り組む態度を育成していきます。頑張りを認め・ほめることで意欲を高め、習慣化を図るとともに、生徒個々の能力や学習内容の進捗の度合いを適切に把握し、個に応じた支援を行うことで「量」や「質」を高めていきます。ノートに目標を書き、自己評価や教師による評価を適時行っていくことで「マネジメント・サイクル(PDCAサイクル)」の確立を図ります。また、授業と家庭学習を連動させた授業を意識して行っていくことで、生徒に「授業と家庭学習のサイクル」を定着させていきます。

**【具体的な自主学習ノートの活用法】**

- ※ 始めにノートに、目標(◎)を書きましょう。 例) Unit 3①の単語を覚える。
  - 国語・・・漢字の読み書き、語句の意味調べ、短文づくり  
 ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
 新聞記事の要約や感想記述
  - 数学・・・間違えた問題のやり直し(計算の手順がはっきりわかるように・計算式をていねいに書く)⇒(正しくできるようになったら)進さも追求
  - 英語・・・単語練習(必ず最後はテスト形式で確認)  
 教科書の基本本文の書き出し。自分で単語を( )にして解答  
 ( )の数を段階的に増やして最終的に英作文の練習  
 ワークやプリント等のできなかった問題のやり直し
  - 理科・・・教科書の重要語や記号、観察・実験についてのまとめ  
 ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
 重要語句や記号、公式等を読み返し書いて練習
  - 社会・・・教科書の内容のまとめ  
 重要語句の書き出し。(その説明付き)  
 本や新聞を読み、教科書の内容と比較し感想を記述  
 (地理：各地をたずねた紀行文 歴史：学習マンガ  
 公民：新聞やニュースからの時事問題)
  - 音楽・・・授業で教科書等にメモしたことをノートに整理  
 習った歌についての記号の名前と意味の確認
  - 美術・・・スケッチ・重要語句等の確認
  - 技芸・・・学習ノートを活用し重要語や事項等を書き出し復習
  - 身体・・・教科書やワークから理論に関する重要語や事項等を書き出し復習
- ※ 終わりに、成果や反省を具体的に書きましょう。
- 例) 英単語を○個覚えて書けるようになった。 / 計算ができるようになった。



③保護者への啓蒙を行う

「渡利中学校家庭学習スタンダード」(保護者用)を活用して、保護者に家庭学習に対する理解と協力を得ることで、実際の学習の場である家庭での環境整備を進めます。家庭には「基本的な生活習慣の定着」、「学習環境の整備」、「家庭学習への励まし」を重点に生徒の支援をお願いすることで、学校と家庭が連携して家庭学習の効果を高めていきます。

家庭学習	
宿題	自主学習
授業における学習内容の習熟、補充的な内容	自主学習 1: 授業の復習予習、問題集、1・2年の学習内容の補充
例) 学習プリント、ワークブック、教科書の問題、継続的に行う受験対策用教材(3年)等	自主学習 2: 自己の目標実現のための学習(各種検定の準備、高校入試対策など)

**1・2年生:実力養成期**  
 「学習内容・量などを調整し、計画的・継続的に学習に取り組む」

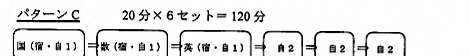
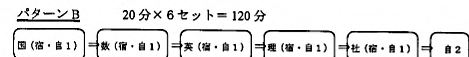
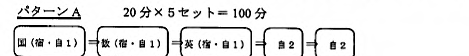
- 自分の生活を見通して学習プランを立て、集中しやすい時間帯に集中しやすい場所で学習する。
- 何を学習しなければならないのかを考え、教科の組み合わせを工夫して学習する。
- 自主学習1(復習・予習)を中心に学習する。

**3年生:完成期**  
 「進路実現に向け、自立的に学習に取り組む」

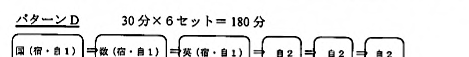
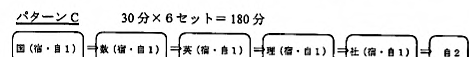
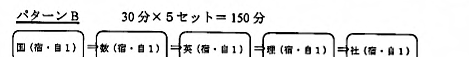
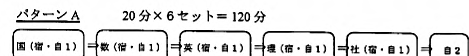
- これまでの経験を生かし、自分なりの学習スタイル(時間、場所、取り組み方など)を確立する。
- 授業の復習・予習に加えて、自己の目標実現のための学習(自主学習2)にも計画的に取り組む。

**2 家庭学習の取り組みの例**

【1・2年生】 ※時間はあくまで目安です。 宿:宿題, 自:自主学習



【3年生】



# はばたけ

郡山市立桜小学校  
4年生学年懇談資料  
平成30年4月19日号

## 宿題の3点セットについて

漢字や計算問題などの知識の定着や技能の向上、「家に帰った後も必ず一定時間学習する」といった習慣の形成を目的に、宿題を出します。

4年生では次の四つを基本に毎日の宿題にします。

- ①音読 ②漢字(国語) ③計算(算数)

中学年の家庭学習の時間のめやすを40~50分としていますので、もし早く3点セットが終わった場合は自主学習などにも取り組んで欲しいと思います。

ただ、やる気いっぱいの子もたくさんです。自主学習は負担になりすぎない程度で取り組むようにしてほしいと思います。

## 家庭学習カードについて

先週、子どもたちに家庭学習カードを配付しました。これは自分の家庭学習の足跡を残し、家庭学習の習慣化を図る目的で行います。

子どもたちには毎日、家庭学習の振り返りや実践に行った学習(宿題も含む)を記録してもらいます。また、日曜日には一週間の振り返りも書くようにしています。

おうちの方にも毎日、子どもたちの家庭学習カードを見ていただき、サインの記入をお願いします。そして、日曜日には、子どもたちの家庭学習の様子についての気づきや子どもたちへの励ましなどのコメントの記入や印をお願いします。

# 家庭学習の仕方

## 1 家庭学習の5(ファイブ)ポイント

- ① 毎日、時刻を決める。(0時△分から50分)
- ② 机の上と周囲をきれいにし、必要なものをきちんとそろえる。
- ③ 始めたら、10分間は立ち歩かない。
- ④ しぜいを正しくする。(えんぴつの持ち方に気をつける。)
- ⑤ テレビをつけない。(～ならはしない)

## 2 家庭学習の進め方

### 【国語】

- 学習したところを2~3回音読する。
- 家にある本や図書室の本を音読する。
- 漢字ドリルで毎日新しい漢字を覚える。
- 工夫した漢字の学習に取り組む。  
※ 漢字の練習は、じゅく語で書いて練習すること。習った漢字だけをきかめ的に書いても覚えられません。
- 日記や作文を書く。
- プリントの問題を解く。 など

### 【算数】

- ドリルの問題を解く。
- プリント問題に取り組む。
- 予習をする。
- 今日やったノートを開き、新しく学習した要点をまとめる。  
※ まとめの部分や、赤線を引いた文などをノートに写しておぼえる。  
※ わかったことを、自分のことばでまとめる。 など。

### 【自主学習】

- 平日でできないようなことに取り組もう!
- 例 (読書 英語 社会や理科の復習 リコーダー なわとび お手伝いなど…)



けいぞくは力なり・・・

毎日こつこつとやっぺいこう!



## いよいよ自主学習スタート!

前にお知らせしていましたように、今週から自主学習をスタートしたいと思います。夏休みにも、復習やいろいろな問題にたくさんチャレンジしてきたお子さんがいました。まずは、週に2回は提出することができるよう子どもたちに話をしました。宿題にプラスしての学習ですので、放課後の時間をいかに使っていくかが大切になってきます。頑張って取り組んでいけるよう励ましていただければと思います。



**学習カードの記入の仕方と自主学習の進め方**

～ 記入 ～

- 1 「音読の題名」「家読の題名」には、教科書文の題名や読んだ本の題名を正確に書く。
- ② 「もつすぐ雨に」「100万回生きたねこ」「ナイトンゲル」など
- 2 「自主学習」のらんには、学習したページ数を書く。
- 3 「家の人」のところには、田かサインをかかならずおうちの方に記入していただく。

～ 自主学習例 ～

- その日の授業のノートの内容をまとめて直ししたり、問題をもう一度といたりする。
- 先に読みがなを書き、テストのつもりで漢字を書く。
- 習った漢字を使って短文作りをする。
- 都道府県名や県庁所在地地名を漢字で書く。
- 計算ドリルの問題を何度もといてみる。
- 言葉の意味調べをする。
- テストやプリントの問題をノートでもう一回。
- もう少しで習う学習内容を予習する。

<注意点>

- ◇ 週に2回は提出しましょう。
- ◇ ページ数をふやすためではないので、自分のために考えながら。
- ◇ 考えず、ただ書くだけ、という学習は身につけません。
- ◇ 何がポイントか考えて。(イラストやかざり文字に時間をかけすぎない)

時間を大切にきげきと!

学習の例をノートの貼りました、お子さんといっしょに確認をお願いします。

## 学習カードの記入の仕方と自主学習の進め方

### ～ 記入 ～

- 1 「音読の題名」「家読の題名」には、教科書文の題名や読んだ本の題名を正確に書く。
- ② 「もつすぐ雨に」「100万回生きたねこ」「ナイトンゲル」など
- 2 「自主学習」のらんには、学習したページ数を書く。
- 3 「家の人」のところには、田かサインをかかならずおうちの方に記入していただく。

### ～ 自主学習例 ～

- その日の授業のノートの内容をまとめて直ししたり、問題をもう一度といたりする。
- 先に読みがなを書き、テストのつもりで漢字を書く。
- 習った漢字を使って短文作りをする。
- 都道府県名や県庁所在地地名を漢字で書く。
- 計算ドリルの問題を何度もといてみる。
- 言葉の意味調べをする。
- テストやプリントの問題をノートでもう一回。
- もう少しで習う学習内容を予習する。

### <注意点>

- ◇ 週に2回は提出しましょう。
- ◇ ページ数をふやすためではないので、自分のために考えながら。
- ◇ 考えず、ただ書くだけ、という学習は身につけません。
- ◇ 何がポイントか考えて。(イラストやかざり文字に時間をかけすぎない)

時間を大切にきげきと!





平成31年度

小田倉小学校

### 家庭学習の進め方

～ふくしま「家庭学習スタンダード」をもとに「自ら学ぶ力」を育てる～

変化の激しい時代にあって、子どもたちが豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校の学習はもちろんだこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切となります。

(ふくしま「家庭学習スタンダード」より)



自ら学ぶ力を育てるために～環境づくり、習慣づくりにご協力ください～

- お子さんのノートやプリントなどを見て、がんばった過程を認める。子どもが喜ぶべきなら、できる範囲で答える。保護者からのコメントや確認印を押す。
- テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくる。
- 学習用具を自分でそろえられるように、一緒に確認したり、助言したりする。

(参考：ふくしま「家庭学習スタンダード」)

### 各学年の家庭学習時間の取り方例

学 年	1・2年生の例(30分)	3年生の例(45分)	4年生の例(60分)	5年生の例(75分)	6年生の例(90分)
内容	教科書習熟 10分 宿題 20分	教科書習熟 10分 宿題 25分	教科書習熟 10分 宿題 30分	教科書習熟 5分 宿題 40分	教科書習熟 5分 宿題 50分
		自主学習 10分	自主学習 20分	自主学習 30分	自主学習 35分

### 各学年で目指す家庭学習のゴール

学 年	目 標	視 点
1	おうちのかたと決めた学習の約束に従って、おうちのかたと一緒に楽しく学習する。	学習習慣
2	おうちのかたと決めた約束に従って、声をかけられたら自分から進んで毎日の学習ができる。おうちのかたと一緒に勉強の見直しができる。	振り返り
3	おうちのかたとに言われなくても自分から毎日学習する習慣がある。まるつけの結果をみて、自分から見直しができる。	学習習慣 振り返り
4	1週間程度の期間を意識しながら、毎日やることを決めて自分で学習することができる。自分でまるつけ・見直し・解き直しができる。	学習習慣 振り返り
5	自分で目標を決めて、決めたとおりに学習を進めることができる。勉強が予定通りに進んでいないときがあれば、自分で工夫して予定を立て直している。	学習習慣
6	目標や計画を自分で考えて学習を進め、成果を確認し学習を見直し、「中学でも伸びる学習方法、姿勢」が身についている。	学習方略

(参考：ベネッセ 小学講座「学習力」より)



## 下郷町四つ葉のクローバープラン 我が町の子どもを育てる7か条

- 第1条 早ね早おき朝ごはん**  
生活習慣を身につけさせましょう
- 第2条 「おはよう」・「おやすみ」**  
あいさつは心をこめてさせましょう
- 第3条 きまりを守ることは大切**  
ルールを守る子どもにしていきたいましょう
- 第4条 学びの習慣づくり**  
下郷学習プランを実践させましょう

- 第5条 家族みんなで読書“家読”**  
心を豊かにする読書に親しませましょう
- 第6条 毎日進んでお手伝い**  
家族の一員としての自覚を持たせましょう
- 第7条 地域の取り組みに参加**  
地域のイベントや伝行事などに積極的に参加させましょう

プラス我が家の1か条

### ★みんなで取り組み、みんなで町の子どもを育てましょう★

#### 学びの習慣 下郷学習プラン

学年	チェックポイント	下郷町での取り組み
120～180分 受験に向けて 配り72分	①進路の実現をめざして! ②家庭学習の習慣化を図り! ③家の人と一緒に学習!	①進路実現を定期的に開催し、町・保育所・小中学校の連携強化を図る。
80～120分 学習・復習 自主学習	④学習時間・内容は自分でマネジメント! ⑤疑問点は先生に質問して必ず解決!	②下郷町学力向上ブランドデザインを作成配布し、保護者の理解と協力を得ながら取り組む。
70分以上 計画を立てて 家庭学習	⑥計画を立てて実施!	③児童生徒の実態把握と資力の調査を活用し、指導に活かす。 【QRコード】学力の定着度を調査 【QRコード】学習集団の実態を調査
60分以上 計画を立てて 家庭学習	⑦勉強のほかに自主学習にも取り組みます! ⑧興味や関心を伸ばす	④授業研究会を実施し、小・小・小・中連携を図り、授業改善・授業力向上に努める。
50分以上 自ら進んで 家庭学習	⑨継続に取り組めます! ⑩表現する力を高める	⑤保育所と小中学校の連携を深める。 【夏休みの保育所公開】(低学年との交流)
40分以上 自ら進んで 家庭学習	⑪学習習慣が身についたら明日の準備をします! ⑫規則正しい生活習慣を身につける	⑥メディアコンローラーの実施 【家庭の協力を得て年3回(5,9,1月)】
30分以上 毎日学習 習慣づくり		⑦スマートフォン等メディア連携機器の使用 ⑧学習時間の確保(5分程度)を促す。 ⑨使用の限の授業(1～10)を定める。
20分以上 毎日学習 習慣づくり		

**渡利中学校家庭学習スタンダード**

家庭学習のスタンダード(福島市版あり)

渡利中学校

渡利中学校では、生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせるため、研修を通して、日々の授業改善を進めています。その中で、より学習した内容の定着を図ったり、自ら学ぶ習慣を付けたりするためには、家庭学習が重要であると考えています。そこで本校では、家庭学習の指針となる「家庭学習スタンダード」を作成し、生徒に指導しています。

つきましては、下記に、家庭学習についての意義や内容、約束などについて示しましたので、保護者の皆様にもご覧いただき、ご理解の上、ご協力をよろしくお願いします。

**1 家庭学習の意義と内容**

家庭学習の意義は「学力の向上」に加え、「自らの学びをマネジメントする力」の育成があげられます。そしてこれは生涯を通じて学び続ける態度の基盤となるものです。中学校の3年間では、1・2年生のうちに自分に合った「学習スタイル」を確立することが重要です。部活動もあり、帰宅時刻が遅くなるため、連続して学習時間を確保するのが難しい場合もあります。自分の生活を見つめ直し、「すきま時間」をうまく活用するよう、ご家庭でも励ましながら、学習の様子を見守ってください。3年生は「人生の節目の時期」です。将来を見据えた目標を明確に持たせることが、学習の「やる気」にもつながります。お子さんが安定した気持ちで学習に取り組むことができるよう、温かい見守りと励ましをお願いします。

宿題	家庭学習	自主学习
授業における学習内容の習熟、補充的な内容 例) 学習プリント、ワークブック、教科書の問題、継続的に行う受験対策用教材(3年)等	自主学习1: 授業の復習予習、問題集、1・2年の学習内容の補充 自主学习2: 自己の目標実現のための学習(各種検定の準備、高校入試対策など)	

**1・2年生: 実力養成期**  
「学習内容・量などを調整し、計画的・継続的に学習に取り組む」

- 自分の生活を見通して学習プランを立て、集中しやすい時間帯に集中しやすい場所で学習する。
- 何を学習しなければならないのかを考え、教科の組み合わせを工夫して学習する。
- 自主学习1(復習・予習)を中心に学習する。

**3年生: 完成期**  
「進路実現に向け、自律的に学習に取り組む」

- これまでの経験を生かし、自分なりの学習スタイル(時間、場所、取り組み方など)を確立する。
- 授業の復習・予習に加えて、自己の目標実現のための学習(自主学习2)にも計画的に取り組む。

**【具体的な自主学习ノートの活用法】**

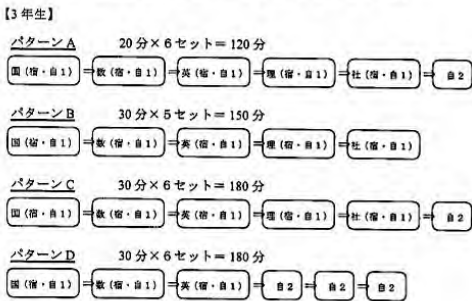
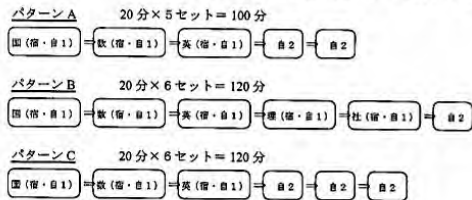
※ 始めにノートに、目標(◎)を書きましよう。例) Unit 3◎の単語を覚える。

- 国語・・・漢字の読み書き、語句の意味調べ、短文づくり  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
新聞記事の要約や感想記述
  - 数学・・・間違えた問題のやり直し(計算の手順がはっきりわかるように・計算式をていねいに書く)⇒(正しくできるようになったら)速さも追求
  - 英語・・・単語練習(必ず最後はテスト形式で確認)  
教科書の基本文の書き出し、自分で単語を( )にして解答( )の数を段階的に増やして最終的に英作文の練習  
ワークやプリント等のできなかった問題のやり直し
  - 理科・・・教科書の重要語や記号、観測・実験についてのまとめ  
ワークや単元プリント等のできなかった問題のやり直し  
重要語句や記号、公式等を繰り返し書いて練習
  - 社会・・・教科書の内容のまとめ  
重要語句の書き出し、(その説明付き)  
本や新聞を読み、教科書の内容と比較し感想を記述  
(地理:各地をたずねた紀行文 歴史:学習マンガ 公民:新聞やニュースからの時事問題)
  - 音楽・・・授業で教科書等にメモしたことをノートに整理  
習った歌についての記号の名前と意味の確認
  - 美術・・・スケッチ・重要語句等の確認
  - 技家・・・学習ノートを活用し重要語や事項等を書き出し復習
  - 保体・・・教科書やワークから理論に関する重要語や事項等を書き出し復習
- ※ 終わりに、成果や反省を書きましよう。  
例) 英単語を◎覚えて書けるようになった。/計算ができるようになった。



**2 家庭学習の取り組みの例**

[1・2年生] ※時間はあくまで目安です。宿:宿題、自:自主学习



◇◇ご家庭で～家庭学習を充実させるための3つのこと～◇◇

- 心の支え・コミュニケーションを大切にし、心に寄り添って良き話し相手になる。自信をなくしたり、学習成果に不安を感じているときは安心感を与える。
- 環境づくり・学習する場所を整理し、集中できる環境をつくる。家族と一緒に読書をする機会を設ける。図書館・公民館などの利用したり、体験活動に積極的に取り組ませたりする。地域行事に積極的に参加させる。
- 習慣づくり・早寝・早起きや手洗いの習慣を身に付けさせる。朝ご飯は、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べる。テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決める。

4月に配付

**家庭学習スタンダードの活用について(お願い)**

富岡第一・第二中学校 三春校

- 取組のねらい
  - (1) 家庭学習の方法を見直すことにより、生徒自身の自己マネジメント力を高めます。
  - (2) 学校と家庭が連携して支援することにより、家庭学習の質の向上を図ります。
- 期待する子どもの姿  
「自己マネジメント力=自分で学習や生活を改善し、向上させる力」をもった生徒を育てます。
- 学校の取組
  - (1) 教師の授業力向上のために、研修を深めます。  
⇒子どもたちの興味心をひき出し、学ぶ喜びを感じられる授業を展開します。
  - (2) 「家庭学習の手引き」を作成し、家庭学習の進め方を指導していきます。  
⇒各教科で、予習・復習やテスト勉強の進め方を具体的に提示します。
  - (3) 個に応じた家庭学習の課題(宿題)を与え、学力の向上を図ります。  
⇒各教科で調整し、課題(宿題)が多くなりすぎないように配慮します。
  - (4) 全教職員が、個々の自主学习の内容や方法について助言します。  
⇒わからない内容を解決するために、いつでも質問できるような環境をつくります。
- 家庭・地域の関わり
  - (1) 3つの視点
    - 心の支え
    - 環境づくり
    - 習慣づくり
  - (2) 本校の重点  
「習慣づくり」に重点をおき、家庭と連携しながら望ましい学習習慣を身に付けていきます。

**STEP1**

**3つの目標を立てる**

お子さんと相談しながら、3つ項目についての目標を立ててください。  
 ① 生活習慣 (例) 早寝早起き、朝食を必ずとる、手洗いをするなど  
 ② メディアの使用 (例) テレビ・ゲーム・スマホ等の使用時間規定 など  
 ③ 家庭学習 (例) 毎日2時間学習する、決まった時間に学習する など  
 ※ 目標は、3項目のうち1つか2つでもかまいません。

**STEP2**

**取組を振り返る**

保護者の方が、週末に3つの目標の達成状況をそれぞれ4段階(A~D)で評価してください。時間のある時にはコメント(ほめたり励ましたりする言葉)もお書きください。

**STEP3**

**目標を見直す**

取り組んでいく中で達成できた項目があれば、その項目の目標をステップアップさせてください。原則として、月ごとに目標を見直していただきますが、達成できなかった項目は目標を変更せず継続してもかまいません。

本校では、「STEP1→STEP2→STEP3」の手順をくり返して、よりよい習慣を身に付けさせたいと考えています。保護者のみなさまのご協力をお願いします。

